

福岡県

北九州市退職小学校長会

結成 平成30年4月1日

◇現在までの歩み

県から政令市への権限一部移譲に伴い平成30年4月福岡県退職小学校長会から分離独立し北九州市退職小学校長会として新たに発足。初代会長に高木 眞氏を選出。当時の会員数395名。以後、会員の減少傾向が続き令和6年度は会員数367名である。北九州市退職小学校長会は、門司、小倉、若松、八幡、戸畑の5支会で構成されており、活動は市主催の活動に加え、支会独自の特色ある活動があり多岐に亘っている。

◇活動づくりへの視点

- 子どもたちの教育活動拠点である学校を支える組織でなければならない。
- 会員の絆を深める組織でなければならない。

◇特色ある活動

○ 専門部活動の充実

(1) 教育推進部

- ・現職校長と会員の「教育懇談会」を実施し、各学校の課題究明の手立てを協議する。また、市教委との懇談会を実施し、教育の現状を把握する。

(2) 福利厚生部

- ・会員の福利活動の活発化
 - ①講演会の実施
 - ②88歳、99歳会員への表敬訪問
 - ③支会ごとの懇親会等の実施

(3) 広報部

- ・会員の「絆」づくりの要として、北九州市退職小学校長会だより「北九五つ星」では会務報告を、北九州市退職小学校長会会誌では会員の声を中心に発行する。

(4) 学校支援部

- ・学校支援のあり方を学校長と協議し、これに基づき「人材バンク」を作成し、
 - ①教科等の授業における指導助言
 - ②様々な行事における補助等の要請に対応する。



日本新三大夜景第一位「北九州市」の一角に位置する若戸大橋橋塔